

# 大分県新長期総合計画策定県民会議 第2回全体会 委員発言要旨

日時：令和6年8月19日(月)14:00～16:00

場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

No.	項目	発言要旨
1	安心全般	・安心部会では、当事者目線を大事にすべきとの意見が多く寄せられた。この結果、10年後の目指す姿には、こどもが、障がい者が、など当事者を主語とする姿が数多く描かれることとなり、県民の皆様とわかりやすく共有できるものにブラッシュアップできたのではないかと考えている。計画を着実に実行することで、県民が主語になった目指す姿をしっかりと実現してもらいたい。
2	安心全般	・目指す姿のイラストについて、医師が女性であったり、災害支援で女性が活躍していたり、障がい者が様々な場面にとけ込んでいたり、安心部会での議論を踏まえて描かれている。イラストに表現されているような「ワクワクする大分」になるように頑張りたい。
3	安心1 (1) (2) (3)  災害対策	・地震対策においては、行政を含めた総合力、特に地震が起こる前段階での準備が非常に重要。ぜひ、計画に盛り込まれたハード・ソフト両面の対策をしっかりと進めてほしい。
4	安心3 子育て  安心4 健康  安心5 障がい者	・子育て満足度日本一、健康寿命日本一、障がい者活躍日本一はいずれも非常に重要な課題である。それぞれ関係する皆さんが一生懸命取り組んでいる。必要な予算をしっかりと確保いただいて、実現してもらいたい。
5	安心5  障がい者	・障がい者については、これまでの雇用率日本一から、誰もが活躍ができるという観点から「活躍日本一」となった点が非常に良かったと感じている。
6	安心6 (1)  人権	・人権尊重は、安心分野の各政策はもとより、元気分野の政策3、4における観光客、外国人の受入れや女性の活躍に深く関わっている。また、未来創造分野の政策2、5における移住者の受入れや、こどもの安全・安心な教育の実現にも不可欠なものと考えている。様々な主体者が、人権尊重をベースとして、計画の実行に携わっていくことができれば、より本質的な大分の発展を期待できる。
7	安心6 (3)  NPO	・大分は本当にボランティアが盛んなところだが、組織のあり方も様々で、各市町村でも地域差がある。地域の課題をしっかりと解決するためのNPO協働は、誰をつなぐか・どうつなぐかというところを行政としっかりと連携しながら進めていければと考えている。
8	安心7 (1)  治安	・10年の計画期間中には、様々な情勢の変化が予想される。現在も、以前には考えられなかった特殊詐欺などが出現している。今後も、新たな犯罪の出現が懸念されるため、情勢に応じて適宜見直しをしてもらいたい。

No.	項目	発言要旨
9	安心7 (3) 食	・消費者である県民が、新計画を契機に、より食の安全・安心や食育に関心を持ち、より健康で安全で、楽しい食生活を送ってもらえるようになるとうい。この計画が一人ひとりに浸透していくことを願っている。
10	元気全般	・産業、観光、スポーツなど地域の元気づくりに欠かせない基幹産業を支えていくための議論ができたことは、大変有意義だった。
11	元気1 農林 水産業	・農林水産業全体では、この計画によって、県民に大分県産材、大分県産品を消費していただくような機運が生まれると大変ありがたい。
12	元気1 (2) 林業	・10年後のさらにその先を見据えると、その時々時代の潮流に柔軟に対応できる林業であり続けてほしいと思う。大分県の林業が全国に誇れるものとなるよう、県、民間事業者、山林所有者でしっかりと連携しながら取り組んでいきたい。
13	元気1 (3) 水産業	・計画実行により、漁業者も元気になると思う。漁業者として、元気分野を越えて分野横断的に協力し、大分県の元気づくりに貢献していきたい。
14	元気2 (1) 中小 企業	・先端技術やDXによる中小企業の競争力担保と持続的成長に関して深く議論する中で、特に中小企業の稼ぐ力につながる特許の取組を計画に盛り込むことができたことは、大変素晴らしいと思う。
15	元気2 (2) ものづくり	・想定を上回る人口減少をはじめ、社会情勢が目まぐるしく変化する中で、ものづくり産業も変化していかなければならない。人手不足も深刻化する中、今後さらなる増加が見込まれる外国人をスムーズに受け入れるとともに、地元の企業等と一体となり、新たな施策も上乘せしながら、ものづくり産業を発展させていきたい。
16	元気3 (1) (2) 観光	・スポーツツーリズムやアドベンチャーツーリズム、カルチャーツーリズムなど、多様性のある観光地域づくりを進め、持続性の高い観光立県・おんせん県おおいたを実現していきたい。
17	元気3 (1) 観光  元気6 (2) 芸術 文化	・大分県は文化財も豊かな県であるため、文化・観光振興を強化し、県全体の周遊観光にしっかりと取り組んでほしい。
18	元気3 (2) 観光	・地域と多様な形で関わる関係人口を創出していくことが、持続性の高いツーリズムの実現にもつながると思う。

No.	項目	発言要旨
19	元気4 (2)  外国人	・新たな目標指標として、「特別な教育課程による日本語指導を受けられている児童生徒の割合」100%を掲げている。この目標の達成に向け、行政と地域がしっかりと連携しながら取り組み、誰一人取り残されない大分県を創っていききたい。
20	元気5 (2)  女性活躍	・究極の目指す姿は、女性活躍の施策そのものが計画からなくなることだと思う。5年後の中間見直しの際には、「もう女性活躍の施策は必要ない」となるよう、女性がいきいきと活躍することが当たり前な大分県が実現し、多様性のある県民が様々な分野で活躍していくことができれば、こんなに素晴らしいことはないと思う。
21	元気6 (1)  芸術文化	・大分市から離れた地域で暮らす高齢者等にも、質の高い芸術文化に触れる機会を届けることができる体制づくりにしっかりと取り組んでほしい。
22	元気7 (1) (2)  スポーツ	・スポーツと他の分野が上手く連携することで、大分県の付加価値向上につながるのではないと思う。 ・また、スポーツに無関心な県民にどのようにしてアプローチしていくかという観点も大事。
23	未来創造全般	・これからの人口減少社会を見据えつつも、交通の結節点・ハブとしての大分県の位置付けを活かした東九州新幹線やカーボンニュートラルポートをはじめとする未来の交通ネットワークのあり方、環境への対応が今後重要になってくる。 ・環境への対応は、コストではなくむしろ機会であるため、ネイチャーポジティブや循環型社会の形成、カーボンニュートラル・GXといった環境先進県としての大分の価値の最大化を図っていくことが重要。 ・また、教育県大分としての人材育成と若者が活躍できる機会を創造していくこと、誰もが住みたくなる魅力ある大分県に向けた移住促進やドローン、AI等の活用によるデジタル社会の実現、先端技術を活用した労働生産性の向上など、今後10年、さらにその先を見据えた計画になったと思う。
24	未来創造1 (1)  交通	・中九州横断道路の整備は、半導体産業で活況を呈している熊本県への製品輸送の迅速化やコスト削減に直結するとともに、サプライチェーン全体の強化を促進するものと確信している。また、東九州自動車道の4車線化による北九州方面へのアクセス向上等により、完成品メーカーとの連携が一層強化され、新たな市場開拓やビジネスチャンスの拡大につながると思う。 ・さらに、次世代モビリティ技術の導入により、物流の効率化だけでなく技術開発分野においても、県内自動車関連産業が大きな存在感を発揮する機会が提供される。技術力向上や人材確保への支援は、県内製造業全体の持続的成長を後押しし、地域の産業基盤を強化する大きな力につながっていく。
25	未来創造1 (1)  交通	・「東九州新幹線等の整備計画路線格上げ」の「等」は、四国新幹線を指しているとの認識でよいか。四国新幹線も盛り込むのであれば、四国の方にも東九州新幹線を応援してもらうような働きかけをしていただきたい。
26	未来創造1 (1)  交通	・中長期的には、広域高速交通網の整備、それによる経済エリアの拡大が非常に大きなポイントになると考える。中九州横断道路や東九州新幹線、四国高速道路の実現により、熊本・福岡・四国を一つの経済エリアにしていくことが重要。

No.	項目	発言要旨
27	未来創造1 (3)  交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>東九州新幹線や豊予海峡ルート構想など、大きなビジョンもあるが、県民の地域の暮らしを支える公共交通の維持、利便性の向上にも力を入れて取り組んでほしい。</li> </ul>
28	未来創造1 (3)  交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる分野で人手不足が深刻化する中、交通や物流、観光などにおいても、過去想定していた利用者数や需要を担保できなくなっている。いかに少ない需要を維持・確保していくか、担い手の確保も含め人財に対してどれだけ投資していくかが、この先の大分の未来を創造していく上で非常に大事。</li> <li>交通に関する人財確保が、県の総合計画で明示されるのは中々ないことなので、ぜひ不断の努力をもって推し進めていただきたい。インフラ整備が目的になるのではなく、人財や需要をしっかりと確保した上で、相関性を持って推進してほしい。</li> </ul>
29	未来創造1 (3)  交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な取組に、ラウンドアバウト（環状交差点）の導入を盛り込んでいただき感謝している。死亡事故の多くが交差点内で発生している中、安全・安心な交差点であるラウンドアバウトの導入を進め、県内に根付かせることが重要。ぜひ、この10年間で、できれば振興局単位、あるいは各土木事務所単位で1箇所は導入してほしい。</li> </ul>
30	未来創造2 (1)  定住	<ul style="list-style-type: none"> <li>今の時代は、本県に住みながら、様々な方法で世界と繋がる手段があるので、今後こどもたちが大分県を愛し、定住してほしいという気持ちを伝えていくことが大事だと思う。</li> </ul>
31	未来創造2 (1)  定住	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITや遠隔技術が発達してきた中、デジタル技術を活用した田舎暮らしが各地域で営まれている未来を一緒につくっていききたい。</li> </ul>
32	未来創造3  環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境先進県を目指すことに賛同する」というパブリックコメントの意見が非常に嬉しい。本県に住むことが県民にとって誇らしい未来、他県からも大分県が憧れの土地になってほしいと考える。そのためには、先端事例を民間と行政が協働しながら1つずつ積み上げていくことが大事。</li> <li>また、本県の目指す姿をまとめたイラストを県民一人ひとりが至るところで目にし、頭の中にイメージとして深く定着させることができれば、10年後すばらしい状態になると思う。行政、県民、民間事業者が一体となって取り組んでいきたい。</li> </ul>
33	未来創造3 (2)  GX	<ul style="list-style-type: none"> <li>GXについては、2050年という10年どころか20年以上先の話をしているため、今後現実性も勘案しながら適切なタイミングで見直していただきたい。</li> <li>地熱などエネルギーの地産地消、森林の吸収源等の本県の強みを企業という枠を越えて観光資源や産業と上手くつなぎ合わせ、県全体で成果を追求することが重要。私たち民間企業、コンビナート企業は、危機感を持って取り組んでいる。そういった民間の活力を最大限に引き出していただきたい。</li> </ul>
34	未来創造4 (1)  DX	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状、人材確保や技術面のアドバイスなど、県内企業や団体のニーズ・シーズのマッチングができていないと感じる。DXによる産業ニーズ・シーズを県域で共有できるような仕組みを提供していただければ、経済は大きく活性化できると思う。</li> </ul>
35	未来創造5  教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画では、未来創造の最後の政策に教育を据えて、計画全体を締めくくる内容になっており、大分県の教育に対する本気度を感じた。</li> <li>どの地域に住んでいても、こどもたちが持つ可能性を最大限に伸ばす教育が最終的に目指すところ。様々な課題に対して、教育機関だけでなく、家庭や地域、行政、産業界が一体となり、未来の大分を支える人材育成に取り組むことが大事である。</li> </ul>

No.	項目	発言要旨
36	未来創造5 (3)  教育	・ここに掲げている10年後の目指す姿は、県民とフリースクール等の民間団体の力を借りれば、10年かけなくて達成できる目標だと思う。主な取組も、学校を中心とした対策になっているため、民間の力を活用する内容を反映してほしい。
37	計画全般	・計画を着実に実行していくにあたっては、私たち県民一人ひとりが当事者意識を持ち、積極的にフォローやチェックを行うことが大切。特に、若者にはより興味を持って見てもらいたい。
38	計画全般	・計画の実行は、県民総参加あるいは、協働で進めることが大事。特にスタート時点では、旗振り役が必要なことから県の体制づくりをしてもらいたい。また、県民との協働については、取組を絞って呼びかけることも有効と考える。
39	計画全般	・計画策定が目的ではなく、計画で目指している大分にしていくことが重要。行政任せでは絶対に成立しない計画だと考えている。10年後、計画策定に関わったことをこどもたちに胸を張れるよう、プレーヤーの一人として一緒に頑張りたい。
40	計画全般	・今後は、学生や若い世代の計画への関心を喚起するとともに、計画実行への参画も推進してほしい。
41	計画全般	・計画は、定期的な見直しによりブラッシュアップしていくことが大事。有識者等を交えた会議を定期的に行い、行政と県民が一体となって大分県づくりをしていくことが望ましいと思う。
42	計画全般	・計画を自分事として県民に浸透させていくため、情報発信にも力を入れてほしい。
43	計画全般	・社会情勢の変化が激しいため、計画の中間見直しを確実に実施してほしい。
44	計画全般	・計画の実行には、県職員のみならず、県民・民間企業の皆さん、さらには、国も含めたすべてのプレーヤーと大分県の将来像を共有し、理解いただきながら、一緒に創り上げていくことが重要。 ・これからの10年は変革の時代であるため、ここで描かれた将来像は変更を余儀なくされることもあり得る。県民の皆さんとの対話や連携を通じて、柔軟に計画を見直していただきたい。
45	計画全般	・想定を上回るスピードで進む人口減少の対策として、各分野の共通テーマであるDXをしっかりと進めていただきたい。 ・本計画は素晴らしいものだと思うが、計画を達成するための財源や人的リソースをいかに確保できるかが一番のポイントである。東京・大阪と競争しても仕方ないため、大分県の特長を活かした取組を推進してほしい。
46	計画全般	・10年後の目指す姿や選ばれるおおいたが実現するためには、コンサバティブな事業もちろん大事だが、エッジの効いたイノベティブな事業、大分にしかないような事業に取り組むことも重要である。

No.	項目	発言要旨
47	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・元気・未来創造、非常に幅広い分野で必要なことが網羅されており、すばらしい計画になったと感じた。</li> <li>・計画の実行により、私たち県民、特に若い人たちが、「明日は今日よりきっといい日になる」、「未来はきっとよくなっていく」と感じてくれるとよい。この計画の本当の意味はそこにあると思う。</li> </ul>
48	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方の意見を取り入れていて、まさに総合計画と呼ぶにふさわしい広範・緻密な計画になっていると感じた。ただ、今後10年間で取り巻く環境や課題は大きく変化していくことから、目標指標も含めて柔軟に見直していただきたい。</li> </ul>
49	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画を県民の皆さんへしっかりと周知して、計画の達成に向けて、県民とともに実行して行ってほしい。</li> </ul>
50	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画推進にあたっては、成長と持続可能性の両立に向けて、政策間の有機的な繋がりをつくり、シナジー効果を創出することが重要。</li> <li>・また、計画のフォローアップについては、K P Iの達成状況のみならず、それにより目指す姿が実現されているのかをチェックすることが大事だと考える。</li> </ul>
51	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化対策・人口減少対策については、国内外の動向等を引き続き研究し、新たな施策にもチャレンジしていただきたい。</li> </ul>
52	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立派な計画ができたので、県民への周知により、当事者意識を持ってもらうことが大事。一方で、変化の激しい時代の中、10年後の目指す未来が変われば、しっかり見直していくべき。また、県の担当者も変わるのも、後任の方も当事者意識を持って計画を進める必要がある。</li> <li>・選ばれるおおいたに関しては、特に、高校や大学の卒業生の県内定着に向けて、学生への計画のPRに力を入れるべき。</li> </ul>
53	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントについて、58名の方から103件もの意見が寄せられており、計画に対する期待の表れだと感じる。計画の実現に向けて、県職員は自身の業務が計画上のどこに位置づけられているかを把握した上で取組を進めてほしい。</li> <li>・安心・元気・未来創造という非常にわかりやすいフレーズがあるので、この言葉を様々な場面で県民に浸透させてほしい。関心がない層でも、生活に身近な場面で県の政策を実感すると計画にどんなことが書いてあるか見ていただけるといいのではないか。</li> </ul>
54	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、県内学校の1学年は約1万人だが、昨年生まれたこどもは6千人台で危機的状況にある。こどもたち・若者に本県を選んでもらえるよう、本気で取組を進めなければ、地域が立ち行かなくなる。</li> <li>・イラストで整理した本県が目指す姿は本当にワクワクするので、これを広く県民、特にこどもたちに浸透させながら、みんなで計画を実現していきたい。</li> </ul>
55	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、若年者の県内就職・県内定着に関しては、複数の政策に多岐にわたって整理されている。縦割りにならないよう、ぜひ、部局横断的に情報をしっかりと共有しながら、相乗効果を発揮していただきたい。</li> </ul>
56	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県職員だけでなく、県民一人ひとりの実行により、目標をしっかりと達成していきたい。</li> </ul>

No.	項目	発言要旨
57	計画全般	・今回の計画には、非常に夢が詰まった話が盛り込まれている。県民への周知に力を入れ、県民に後押しされる計画にしていきたい。
58	計画全般	・委員それぞれの専門知識や経験がしっかり活かされ、さらには大分県をもっと住みやすい、安心して元気で、希望ある将来を子どもたちに残したいという熱意のもとで議論がなされたと思う。これからも皆さんとともに大分県を盛り立てていきたい。